

平成27年度東京都立国立高等学校（進学指導重点校グループ）  
入学者選抜学力検査問題 出題の方針等

# 数 学

## 1 出題の方針

数量や図形などに関する基礎的・基本的な事項についての知識・理解をみるとともに、数学的な見方や考え方、表現・処理に関する能力をみる。

## 2 各問のねらい

- 1 数と式，図形などの領域に関する基礎的・基本的な事項についての知識・理解及び数学的な技能に関する能力をみる。
- 2 数量の関係や法則に関する基礎的・基本的な事項についての知識・理解をみるとともに，問題を総合的にとらえて論理的に考察し表現する能力などをみる。
- 3 平面図形に関する基礎的・基本的な事項についての知識・理解をみるとともに，見通しをもって論理的に考察し処理する能力や推論の過程を的確に表現する能力などをみる。
- 4 空間図形に関する基礎的・基本的な事項についての知識・理解をみるとともに，見通しをもって論理的に考察し処理する能力や推論の過程を的確に表現する能力などをみる。

1		点
[問1]	$\sqrt{2} + \sqrt{10}$	5
[問2]	$\frac{1 \pm \sqrt{3}}{2}$	5
[問3]	$n = 54$	5
[問4]	$\frac{1}{6}$	5
[問5]		5

※ □ の欄には、記入しないこと。

小計1	小計2	小計3	小計4

2		点
[問1]	$a = \frac{1}{3}$	7
[問2]	【 途中の式や計算など 】	10
[問3]	(9, 6)	8

CD=AD=6-t  
であるから、点Cの座標は  
(t, 6-t)  
と表すことができる。  
点Cは曲線  $f: y = x^2$  上にあるから  
 $6-t = t^2$   
 $t^2 + t - 6 = 0$   
 $(t+3)(t-2) = 0$   
 $t = -3, 2$   
 $0 < t < 6$  より、  $t = 2$   
よって、C(2, 4) であるから  
B(6, 4), E(2, 6)  
2点B, Eを通る直線の式を  $y = px + q$  とすると

$$\begin{cases} 6p + q = 4 \\ 2p + q = 6 \end{cases}$$

これを解いて、  $p = -\frac{1}{2}, q = 7$   
したがって、求める直線の式は  
 $y = -\frac{1}{2}x + 7$

(答え)  $y = -\frac{1}{2}x + 7$

得点	受検番号

3		点
[問1]	$\frac{2}{3}$	7
[問2]	(1) 【 証明 】	10
[問2]	(2) $S : T = 5 : 4$	8

$\widehat{CD}$  に対する円周角は等しいので  
 $\angle CAD = \angle CBD$   
すなわち  $\angle CAD = \angle CBG$  ... ①  
半円の弧に対する円周角であるから  
 $\angle BCD = 90^\circ$  ... ②  
仮定より  $\angle BFC = 90^\circ$  ... ③  
AB=AC より  
 $\angle ABC = \angle ACB$  ... ④  
②, ③, ④ より  
 $\angle ACD = \angle BCD - \angle ACB$   
 $= 90^\circ - \angle ABC$   
 $= 180^\circ - \angle BFC - \angle ABC$   
 $= \angle BCF$   
すなわち  $\angle ACD = \angle BCG$  ... ⑤  
①, ⑤ より、 $\triangle ACD$  と  $\triangle BCG$  において  
対応する2角がそれぞれ等しいから  
 $\triangle ACD \sim \triangle BCG$

4		点
[問1]	$\frac{5}{6} \text{ cm}^3$	7
[問2]	【 途中の式や計算など 】	10
[問3]	25 回	8

10秒後、点Pは点Fにあり、点Qは辺BC上にあり、  
BQ=1(cm)  
よって、x秒後 ( $10 \leq x \leq 12$ ),  $x - 10 = t$  とおくと  
点Pは辺EF上にあり、FP=t(cm)  
点Qは辺BC上にあり、BQ=t+1(cm)  
 $\angle PQD = 90^\circ$  となる条件は  
 $PQ^2 + DQ^2 = PD^2$  ... ①  
また、  
 $PQ^2 = t^2 + 1^2 + (t+1)^2$   
 $DQ^2 = (2-t)^2 + 2^2$   
 $PD^2 = (2-t)^2 + 3^2 + 1^2$   
であるから、①に代入して  
 $t^2 + 1 + (t+1)^2 + (2-t)^2 + 4 = (2-t)^2 + 10$   
 $t^2 + t - 2 = 0$   
 $(t+2)(t-1) = 0$   
 $0 \leq t \leq 2$  であるから、 $t = 1$   
したがって、求めるxの値は  $x = 11$

(答え)  $x = 11$